

利用者基本情報

作成担当者：

《基本情報》

相談日		来所・電話 その他()	初回 再来(前)	
本人の現況	在宅・入院又は 入所中()			
フリガナ 本人氏名	西ノ島 花子さん		生(79)歳	
住所			Tel Fax	
日常生活 自立度	障害高齢者の日常生活自立度	自立 J1 J2 (A1) A2 B1 B2 C1 C2		
	認知症高齢者の日常生活自立度	(自立) I IIa IIb IIIa IIIb IV M		
認定・ 総合事業 情報	非該当・要支1・要支2・要介1・要介2・要介3・要介4・要介5 有効期限： ○○ ~ ○○ (前回の介護度) 基本チェックリスト記入結果： <u>事業対象者の該当あり</u> ・事業対象者の該当なし 基本チェックリスト記入日： ○年○月○日			
障害等認定	身障()、療育()、精神()、難病()、()			
本人の 住居環境	自宅・借家・ <u>一戸建て</u> ・集合住宅・自室の有無()階、住宅改修の有無			
経済状況	<u>国民年金</u> ・厚生年金・障害年金・生活保護・()			
来所者 (相談者)	3男		家族構成 ◎=本人、○=女性、□=男性 ●■死亡、☆キーパーソン 主介護者に「主」 副介護者に「副」 (同居家族は○で囲む)	
住所 連絡先	続柄			
緊急連絡先	氏名	続柄		住所・連絡先
	○○	三男		
	△△	次男		
			家族関係等の状況 隣町で暮らす3男の嫁が日々の食材や日用品などを届けてくれている。長男の孫がおばあちゃん子であり、ラインでよく連絡しあっている。	

利用者基本情報

作成担当者：

《介護予防に関する事項》

今までの生活	西ノ島町で出生。高校卒業後は旅館に勤務。25歳で漁師の夫と見合い結婚。3人の息子をもうけ、専業主婦で過ごす。料理が得意だったことから、子供たちが独立してからは、食生活改善推進員として地域の健康づくりをサポートし、70歳頃まで地域活動を実施していた。70歳を過ぎてからは、腰痛や膝痛が出現しては、悪化・改善を繰り返している。75歳の時に夫が他界し、以後、一人暮らしを続けている。夫亡きあとは、地域のサロン等にも顔だししていたが、半年前くらいから、膝の痛みが悪化し、通えなくなっている。		
現在の生活状況（どんな暮らしを送っているか）	1日の生活・過ごし方		趣味・楽しみ・特技
	午前中に家事や受診を済ませ、昼からは家の中で横になり、テレビを見て過ごすことが多い。規則正しい生活を送っている。		特技は、料理をすること。 元気な頃は、健康づくりに関するボランティア活動を25年続けた。 夏に長男の孫に子ができ（ひ孫）ひ孫の成長を楽しみにしている。 週末に長男の子とラインのやりとりを行うのも楽しみにしている。
	時間	本人	介護者・家族
	6:30 10:00 12:00 13:00 16:00 18:00 20:00 21:00	朝食 洗濯・掃除等 昼食 テレビ 夕食・準備 夕食 入浴 テレビ・片付け	* 隣町の3男の嫁が食材等購入・持ってきてくれている。
			友人・地域との関係
			老人クラブの女性部の方の訪問や以前、共に活動していた食生活改善推進員の訪問があり、楽しみの一つである。

《現病歴・既往歴と経過》（新しいものから書く・現在の状況に関するものは必ず書く）

年月日	病名	医療機関・医師名 (主治医・意見作成者に☆)	経過	治療中の場合は内容
	高血圧、高脂血症		Tel 隠岐島前病院	○治療中 経過観察中 その他
	両膝関節症・腰痛症		Tel 隠岐島前病院	○治療中 経過観察中 その他
			Tel	治療中 経過観察中 その他
			Tel	治療中 経過観察中 その他

《現在利用しているサービス》

公的サービス	非公的サービス

地域包括支援センターが行う事業の実施に当たり、利用者の状況を把握する必要があるときは、基本チェックリスト記入内容、要介護認定・要支援認定に係る調査内容、介護認定審査会による判定結果・意見、及び主治医意見書と同様に、利用者基本情報、支援・対応経過シート、アセスメントシート等の個人に関する記録を、居宅介護支援事業者、居宅サービス事業者、介護保険施設、主治医その他本事業の実施に必要な範囲で関係する者に提示することに同意します。

氏名

印